

平成28年第4回定例会

一般質問通告書

流山市議会

平成28年第4回定例会一般質問通告順

日付	順番	議員名	会派名
11月29日	1	野田宏規	流政会
	2	森田洋一	新風流山
	3	中村彰男	自由民主党
	4	乾 紳一郎	日本共産党
	5	藤井俊行	新風流山
	6	野村 誠	公明党
11月30日	7	西尾 段	新風流山
	8	根本 守	自由民主党
	9	植田和子	日本共産党
	10	徳増 記代子	日本共産党
	11	坂巻 儀一	流政会
	12	秋間 高義	公明党
12月1日	13	笠原久恵	流政会
	14	近藤美保	流政会
	15	森 亮二	流政会
	16	石原修治	流政会
	17	戸辺 滋	公明党
	18	斉藤真理	公明党
12月2日	19	小田桐 仙	日本共産党
	20	加藤啓子	自由民主党
	21	西川 誠之	新風流山
	22	阿部 治正	
	23	楠山 栄子	新風流山

質 問 事 項	要 旨
<p>1 つくばエクスプレス 開通に伴う局所的な児 童・生徒数急増への対 応について</p>	<p>( 1 ) つくばエクスプレスの開通に伴い、一部の小中学校で、 児童・生徒数が急増していることを受け、通学区域の観点 から、以下のとおり問う。 ア 市内全域において、これまでの通学区域の変更はどのよ うな遍歴で行われてきたのか。 イ 一般的には頻繁な変更が望まれない通学区域ではある が、この際、その限りではないと考えるがどうか。 ウ 近年の流山市内の地域別人口の変容を見ると、一度、市 内全域における大規模な通学区域変更を行う必要がある と考えるがどうか。</p>
<p>2 県立市野谷の森公園 の実現について</p>	<p>( 1 ) 平成 2 8 年 1 0 月 8 日に公共公園整備工事 ( 市野谷の森 公園修景池築造工 ) 説明会が行われたが、県立市野谷の森 公園整備の進捗について、以下のとおり問う。 ア 説明会では、県からどのような説明がなされ、市はそれ をどう受け止めているのか。 イ 説明会では、会場からどのような質問がなされ、市はそ れらをどう受け止めているのか。 ウ 今後、市としては、県立公園実現に向けて、どのように 働きかけていくのか。</p>
<p>3 下水道事業について</p>	<p>( 1 ) 柏市議会の平成 2 8 年第 3 回定例会において、オイルシ ョック時に設置された Z パイプの老朽化による事故が議 題となったことを受け、以下のとおり問う。 ア 流山市でも類似の事故が発生する可能性があると考え るがどうか。 イ 時代的背景から、Z パイプの設置記録が不明瞭な場合が 多いと仄聞しているが、流山市ではどうか。 ウ Z パイプの老朽化問題について、市は、どのように対応 していくのか。 ( 2 ) あらゆる事態を想定して、下水道の設備を維持するため、 下水道事業のストックマネジメント計画を策定してはど うか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 平成 29 年度予算編成方針について問う</p>	<p>( 1 ) 平成 29 年度の予算編成は、下期実施計画の 2 年目にあたり重要な年として位置づけられる。行政の都合ではなく、市民の立場に立った予算編成とあるが、これは市民目線の予算編成とも読み取れる。では、どういったことが市民の立場に立った予算編成といえるのか問う。</p> <p>( 2 ) 人口推計では、ここ数年は人口の増加傾向が続くと予想される。歳入確保からみた市税収入の増加見込みを平成 29 年度はどのように考えているのか。また、攻めるといふ視点に立てば、市有財産の有効活用や広告料収入が重要、節約するという観点に立てば、次世代の負担軽減のために地方債発行の厳選が考えられる。予算編成にあたっての歳入面での基本的考え方を問う。</p> <p>( 3 ) 高齢化進展による社会保障費の増大、人口増による待機児童解消策、老朽化したインフラをはじめとした都市基盤の整備が歳出面では重要視されているが、予算編成にあたってはどういった点に留意していくのか。</p> <p>( 4 ) 学校の老朽化対策については、比較的優先順位の高い課題と考えるが、予算編成方針の中では、どういう位置付けになっているのか問う。</p>
<p>2 観光施策の充実について問う</p>	<p>( 1 ) 本市の観光施策を推進するにあたり、これまではハード面でのインフラの整備や観光に関するイベントの実施を中心として施策を展開してきたと思われる。現在、観光目的に来訪する人の数は増加傾向にあると考えられる。今後、リピーターの確保やこれまでとは異なる顧客層を確保していくには、これからは、実際の集客という観点から、様々なマーケティング戦略を実施して、市外に対して、観光というイメージを周知、定着させていく必要があると思うが、当局の見解を問う。</p> <p>( 2 ) マーケティングの主要な要素、4 P ( 製品、価格、流通、販促 ) の中で、今後市の観光施策充実には、販促、プロモーションが特に重要と考える。プロモーションといっても、様々な媒体や手段がある。例えば、観光冊子の発行、ホームページでの情報発信、各種観光のイベントに出展などがあげられる。これらの手法を併用することが、プロモーション上は必要不可欠と考えている。また、国内集客向け、海外向け、それぞれ、異なるプロモーションの手法や視点が必要と思われる。特に、海外向けのプロモーションを考える上では、アジアと欧米といった諸外国の文化的土壌や旅行スタイルが異なることを念頭に入れる必要があると思う。当局の観光施策を推進する上での、プロモーションに対する基本的な考え方を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 新川耕地地域における民間開発行為の現状考察とその対策について</p>	<p>(1) 市では、流山ICに近接する第1物流施設の稼働後に地域住民に対して、民間活力に委ねた開発とは言え、全面的に周辺道路等のインフラ整備を優先する旨の説明があったと仄聞している。このことについて、この間、市が行った地域還元対応策について問う。</p> <p>(2) 流山ICに近接する第1物流施設及び下花輪福祉会館並びに造成工事中の新川耕地スポーツフィールド事業について、地域が抱えているそれぞれの問題について以下を問う。</p> <p>ア 当該3施設の利用に伴う既存市道の交通量の現状と将来について、どの程度把握しているのか。</p> <p>イ スポーツフィールドで開催するイベント等により新川耕地の交通量が增大すると考えるが、その場合の最大交通量の把握と安全対策はどのように計画しているのか。</p> <p>ウ 優先されるべき農耕車両の対応は、どのように考えているのか。</p> <p>(3) 開設から10年たった下花輪福祉会館のリニューアルについて以下のとおり問う。</p> <p>ア 現在の利用状況はどのようになっているのか。</p> <p>イ 今後の施設サービス拡充についてはどのように考えるのか。</p> <p>(4) 新川耕地北部地域における、第2・第3物流施設開発行為に伴う新川耕地東側の斜面緑地の保全と維持管理及び開発行為により整備し創出された緑の施設の維持管理について問う。</p> <p>(5) 新川耕地の将来的な農業振興計画について問う。</p>
<p>2 生涯学習における官学連携のあり方について</p>	<p>(1) 学部統合による東洋学園大学流山キャンパスの残存施設利用計画協議について問う。</p>
<p>3 おおたかの森小中学校の通学路安全対策について</p>	<p>(1) 三輪野山地区における通学路安全対策・事故防止の進捗状況について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 市長の政治姿勢について	<p>(1) 日本政府は『核兵器禁止条約』制定のための交渉開始決議に反対したが、流山市平和都市宣言の立場から国に意見をあげるべきではないか。</p>
2 震災対策について	<p>(1) 「流山市地域防災計画修正案」に対するパブリックコメントの結果について</p> <p>(2) まず見直すべきは直下型地震の被害想定を明確にすることであり、その上で対策を講ずるべきではないか。</p> <p>(3) 防災備蓄計画の充実について</p> <p>(4) 4月に熊本地震(震度7)、10月に鳥取県中部地震(震度6弱)と大地震が続いているが、今後、災害対策費を財政上どう位置づけるのか。</p>
3 母子保健について	<p>(1) 人口急増に伴い年少人口が増加しているが、母子保健事業の現状と今後の課題について問う。</p> <p>(2) 厚生労働省は、地域における切れ目ない妊娠・出産支援の強化を重点課題とし、産後ケア事業への補助を予算化している。我孫子市、松戸市など近隣でも広がっている産後ケア事業を実施すべきと考えるがどうか。</p>
4 下花輪地区のまちづくりについて	<p>(1) スポーツフィールド整備に関連して、5月に地元の下花輪自治会から周辺道路整備の要望書が出されているが、市として、要望に応えるためにどう対応するのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 子育てのまち流山を 実感していただく施策 について</p>	<p>(1) 幼児教育支援センター附属幼稚園では、平成28年度は8名の定員割れとなっているが、要因と次年度の対策について問う。</p> <p>(2) 子育てのまちとして魅力ある公園づくりを行う必要があると思うが、他市などでは木製の大型遊具やカラフルな大型遊具等、複合的な機能を備えた遊具が人気を占めている。子育てのまちとして本市でも近隣公園等に特徴を持たせていくべきではないか当局の見解を問う。</p> <p>(3) 放課後の居場所づくりについて問う。                      ア 千葉県では平成27年12月に千葉県子ども貧困対策推進計画を策定、この計画の4つの重点支援施策を当局はどのように捉えて本市で実現していくのか。また、生活困窮世帯の子どもの学習支援事業は県内では、八千代市や習志野市が取り組んでいるが、本市でも導入すべきと考えるがどうか。                      イ 放課後子供教室推進事業は千葉県内でも実施する自治体が、政令市の千葉市や中核市の船橋市、柏市を除く29市で実施と年々増えてきている。本市でも取り組む必要があると思うが当局の見解を問う。</p> <p>(4) 子育て支援には中高生も含まれると思うが、公民館や図書館等の学習の場が大変不足していることについて当局は、どのように捉えて今後改善していくのか。</p> <p>(5) 平成28年第3回定例会で質問した保育士を確保するための本市独自の更なる処遇改善策はどの様に検討を進めているのか問う。</p> <p>(6) おおたかの森小学校では、平成27年4月の開校にもかかわらず児童増によって増築をせざる得ない状況と思うが、今後の人口推計及び児童推計をどのように踏まえて、新小学校の建設や数年後には中学校の建設計画も策定していくことになると思うが、当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 木地区における環境問題について</p>	<p>( 1 ) 木開発地区に隣接する松戸市六和クリーンセンターの解体及び跡地利用計画について、本市の木地区に住む住民から様々な懸念や要望が挙げられている。本市の事業ではないが、平成 3 0 年度完成予定の木地区一体型特定区画整理事業にも影響がある問題と考えられる。そこで本市の取るべき対策について見解を問う。</p> <p>ア 平成 2 9 年度に予定されている六和クリーンセンターの解体工事に伴う近隣への騒音、ダイオキシン、アスベスト対策、交通問題などに配慮するよう本市としても要望をあげるべきと考えるがどうか。</p> <p>イ 木開発地区においては、流山市景観条例に定められているとおり、良好な景観の形成に努めた街づくりを推進しているが、今後完成する松戸市リサイクルプラザが建設されるにあたり、本市の街づくりに与える影響をどのように捉えているのか。</p> <p>ウ 平成 3 2 年度に松戸市全域の粗大ごみを収集する松戸市リサイクルプラザが完成すると 1 日に約 6 0 台の粗大ごみ収集車が流山市側の住宅の目の前を通る計画になっているが、本市でも独自に地元住民が納得できる交通量データを調査し、その結果に基づき松戸市に対し市民の住環境への配慮を要望すべきと考えるがどうか。</p>
<p>2 南部地域における子育て環境の課題について</p>	<p>( 1 ) 南流山小学校区のあるすなる学童クラブは、現状定員 7 0 名に対して 8 3 名の児童を 1 階の 3 教室で受け入れている。今後、急速に増加が見込まれる学童数を受け入れる為に、今使用していない 2 階の 3 教室を改修することにより、平成 3 0 年 4 月から定員 2 0 0 名受け入れ可能としているが、様々な課題がある。そこで以下の点について見解を問う。</p> <p>ア 現状では、トイレが 1 階にしか設置されておらず、2 階の 3 教室が改修後もトイレは 2 階に設置する予定はないと仄聞している。この点について、設置基準に問題はないか、またトイレの不足についてはどのような対策を考えているのか。</p> <p>イ あすなる学童クラブの階段は、外階段しかないが特に雨天時に滑りやすいなどの安全面で懸念される。市として安全性を配慮し改善すべきと思うがどうか。</p> <p>ウ 市及び指定管理者は、学童保育の運営や保育に対する保護者からの要望・意見・苦情を受け付ける利用者が相談しやすい体制を整備し、迅速な対応を図り、改善に努めるべきと思うがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 小中学校におけるスマートフォン等の利用制限について</p>	<p>(1) 平成27年第4回定例会でスマートフォン等の利用制限について質問し、「校長会等でこの話題を一度協議して、取り組みをしていきたい。」とのご答弁を頂いた。その後の取り組み状況について問う。                      ア 何かしらの検討はされたか。                      イ 具体的に制限等を実施した学校はあるか。</p>
<p>2 公立中学校生徒の高校受験における進路指導について</p>	<p>(1) 公立中学校の高校受験における進路指導の際、出願までまだ時間が有る段階でも安全圏の学校のみを提案するケースが多く見られ、結果的に生徒たちの向上心やチャレンジ精神を抑えてしまう事が少なくない。生徒たちの向上心やチャレンジ精神を育てることも重要であると考え、以下について問う。                      ア 第一志望校に合格できなかった場合の保険として滑り止めの学校を確保することを条件に、高い目標を持つことを推奨した方が良いと考えるがどうか。                      イ 「学ぶ子にこたえる、流山市。」ならではの進路指導の方針を打ち出してはどうか。</p>
<p>3 避難所におけるエコノミークラス症候群の対策について</p>	<p>(1) 平成28年4月に厚生労働省から「県の消防防災主管課」あてに、「避難生活を過ごされる方の深部静脈血栓症/肺塞栓症(いわゆるエコノミークラス症候群)の予防について」という事務連絡が出されている。実際に災害が起きた後の周知も大切であるが、事前の準備も大切と考えている。安心安全に貢献できることは進んで取り組むべきであるがコストの問題も並行して考える必要がある。そこで、以下について問う。                      ア 避難所を開設した際のエコノミークラス症候群の対策はどの様に考えているか。                      イ 民間企業との段ボールベットの協定を検討してはどうか。</p>
<p>4 合併浄化槽の推進について</p>	<p>(1) 汚水処理適正化構想において、「合併浄化槽計画区域」に指定された区域では、単独浄化槽や汲み取りのトイレから合併浄化槽へ入れ替えする場合に市から補助されているが、その対応について問う。                      ア 合併浄化槽への入れ替えをしない世帯について、原因は何か。                      イ 現状の入れ替えに対する補助について課題はあるか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 予算編成に向けての市長の政治姿勢について</p>	<p>(1) 予算編成方針について                      平成 29 年度予算編成方針を示達で示したが、この中で、社会保障関係、待機児童対策、都市基盤の整備などの経費が今後も増加することは確実であると言っており、歳出削減の指示を出しているが、厳しい財政状況になったのは、大型公共施設建設の影響があるものと考えるが、市長はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 待機児童対策について                      待機児童問題の対応策として、保育所建設を、近年ハイペースで民間事業者に頼って進めてきているが、市長は、これからも民間事業者による、これ以上の待機児童対策を望もうとしているのか。また、平成 29 年度の待機児童対策についてどのように考えているのか。</p>
<p>2 (仮称)三郷流山橋の建設促進について</p>	<p>(1) (仮称)三郷流山橋の建設に伴い、地元市として、重要なことは何と考え、県に対して何を一番協力しなければいけないと捉えているのか。また、今後の建設促進に向けて、現在のどこに問題点があると考えているのか。</p>

質問事項	要 旨
1 保育行政について	<p>(1) 保育所・保育園の待機児童解消計画について問う。</p> <p>(2) 保育士の確保と待遇改善の具体施策をどう充実させるのか。</p> <p>(3) 私立認可保育園に対する流山市の援助・監督に関して問う。</p> <p>(4) 出産前から保育所確保に悩む父母の実態について問う。</p> <p>(5) 子どもの安全確保など保育内容の充実について問う。</p> <p>(6) 保育料の値上げに関して問う。</p>
2 学校の増設問題と児童・生徒の健全な成長について	<p>(1) つくばエクスプレス開通と児童数の増加、小中学校の建設計画に関して問う。</p> <p>(2) 既存校の増築と校庭等が狭くなる問題について問う。</p>
3 高齢者対策について	<p>(1) 高齢者の就労要求と実態、今後の施策について問う。</p> <p>(2) 高齢者の「健康」「経済」「孤独」の3K問題に関して問う。</p>

質問事項	要 旨
1 憲法問題について	( 1 ) 自民党の改憲草案について、市長の見解を問う。
2 納骨堂について	( 1 ) 流山市墓地等の経営の許可等に関する条例等の変更についてはどう考えているのか。
3 子どもの貧困対策について	<p>( 1 ) 3 年ごとに発表される日本の子どもの貧困率は過去最悪の 16 . 3 % ( 2 0 1 2 年 ) となっている。日本の子どもの貧困率は、OECD 加盟国 3 4 ヶ国中ワースト 1 0 の深刻さです。とりわけ未来を担う子どもの貧困の解決は待ったなしの課題だと考えるが、子どもの貧困についてどう捉えているか問う。</p> <p>( 2 ) 「生活困窮者自立支援法」施行から 1 年。生活保護世帯などの子どもたちを対象に、全国各地の自治体が学習支援事業を実施している。流山市でも計画し実施すべきではないか。また、子ども食堂やフードバンクなど全国で広がっている。流山市でも仕組みをつくり拡充すべきではないか。</p>
4 就学援助制度について	( 1 ) 9 月議会の就学援助制度の拡充を求める陳情項目 1、「入学準備金（新入学学用品費等）の支給を入学前の 3 月に支給してください。」が全会一致で採択されたが、実施について問う。
5 交差点改良について	( 1 ) 前ヶ崎 4 1 1 付近は、交通事故が多く危険な変則交差点となっている。市民の命を守るためにも交差点を改良し、信号機を設置すべきと思うがどうか問う。

質問事項	要 旨
<p>1 流山市污水適正処理構想について</p>	<p>(1) 平成 28 年第 2 回定例会において、市全体を対象に、より経済的、効率的な污水处理施設の整備を推進するため、これまでの下水道計画区域を見直し、市街化区域は下水道計画区域とし、市街化調整区域は一部を除き、合併浄化槽計画区域として平成 36 年度末の下水道整備の完了を目指していくという「流山市污水適正処理構想」の見直しが市長より一般報告された。そこで、その具体的な取り組みについて以下について問う。</p> <p>ア 当該構想では、平成 36 年度末までに下水道管渠整備の完了を目指すとするが、市街化調整区域の合併浄化槽計画も同時に取り組んでいくのか。また、その際に単独浄化槽から合併浄化槽への付け替えに係る市民の負担、市の補助金はどのようにしていくのか。</p> <p>イ 市街化調整区域において、合併浄化槽計画については既に執行部によって説明がなされたと仄聞するが、未だ多くの該当住民から理解されていないという声を聞いている。今後、広く周知していく為にはどのような啓発方法が必要と考えているか。</p> <p>ウ 現在、浄化槽利用地域においては、一般排水路の不備等様々な環境問題が起きている。下水道整備が完了するまでの期間にも、それらの問題への救済処置などが必要と考えるが検討されているのか。</p>
<p>2 安全対策並びに渋滞緩和対策への道路整備について</p>	<p>(1) 現在、西深井地区においては第三物流センターの新設工事が進められているが、完成後の安全対策に関してや、地域の更なる渋滞を懸念する声が多く寄せられている。そこで、当局の見解を以下について問う。</p> <p>ア 西深井の市道 213 号線（根方道路）と市道 110 号線の交差点には信号機と右折レーンはこの後整備されるのか。</p> <p>イ 通勤時間帯に慢性的な渋滞が発生している市道 118 号線、市道 268 号線、市道 110 号線の交差点改良を求める声が未だに多いが、交差点改良がなされる為の手順も含め、当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 教育行政について</p>	<p>(1) 学校図書館司書の配置による教育効果と今後の拡充について問う。</p> <p>(2) 流山市における不登校の実態と不登校対策の取り組みについて問う。</p> <p>(3) 流山市におけるいじめの実態といじめ対策の取り組みについて問う。</p> <p>(4) 北部中学校と八木中学校に設置された学校支援地域本部の取り組み状況と全中学校区への拡充に向けた今後の見通しについて問う。</p>
<p>2 防災対策について</p>	<p>(1) 大地震に伴う電気火災を防ぐのに有効な「感震ブレーカー」の普及推奨について</p> <p>ア 「感震ブレーカー」の普及状況について問う。</p> <p>イ 「感震ブレーカー」を起震車に取り付け、市民まつりなどのイベントの際に周知や必要性をPRすべきと考えるかどうか。</p> <p>ウ 大震災が起きた時の電気火災を防ぐために、自治会が取り組む「感震ブレーカー」設置に対する補助制度を実施し、「感震ブレーカー」の普及を促進すべきと考えるかどうか。</p>
<p>3 抜本的な水害対策としての向小金雨水幹線整備について</p>	<p>(1) 市道部の向小金雨水幹線整備完了後のJR常磐線横断工事の進捗状況と市道部の道路復旧工事について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 出産年齢の高齢化による諸問題について</p>	<p>(1) 平成 26 年厚生労働省の「少子化対策の現状」によると年々初婚年齢や出産年齢が高齢化傾向にあり、様々な問題が指摘されている。そこで以下 3 点について問う。</p> <p>ア 出産年齢の高齢化による子育てと親の介護を同時期に行うダブルケアの件数が他市で増えてきているが、本市でも対策の導入は検討されているか。</p> <p>イ ダブルケアや介護離職の結果、介護破産の可能性とそのことによる子供の進学への影響について本市はどのように把握しているか。</p> <p>ウ 全国初、横浜市でダブルケアと介護離職対策を始めたが、市は把握しているか。そして、導入の検討をしているか。</p>
<p>2 東部地区のぐりーんバス松ヶ丘・野々下ルートの変更と豊四季・流山セントラルパークルートについて</p>	<p>(1) 松ヶ丘・野々下ルートが西松ヶ丘を通るルート変更の可能性について問う。</p> <p>(2) 豊四季・流山セントラルパークルートについて現在しているが、その検討状況について問う。</p>
<p>3 西松ヶ丘のユスリカ大量発生の問題について</p>	<p>(1) 西松ヶ丘の市道 71063 号線の東小から蓋かけ部分の下水道から大量のユスリカが発生し、毎年通り沿いの住民や通学する児童生徒へ大きな影響が出ていると仄聞している。そこで、以下 2 点について問う。</p> <p>ア 毎年、ユスリカの大量発生による問題の対策を何度か要望しているがその後の対策はどうか。</p> <p>イ 蓋かけの部分の都市下水工事をすべきと考えるが市の見解はどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 今後の人口推計の方針と評価・点検方法について</p>	<p>(1) 流山市はつくばエクスプレス沿線開発地域の子ども人口急増に伴う、校舎増設により運動場が極端に狭くなる小学校が発生するなどの問題も顕在化しており、人口推移に関する点検の甘さを感じる。流山市は全国稀に見る莫大な規模の土地区画整理事業が急速に行われている背景もあり推計が難しいことは理解できるが、人口がどのように張り付くかによって必要な社会インフラ整備が変わるリスクは注視していく必要がある。このことから今後の人口推計の方針と評価・点検方法について以下の3点問う。</p> <p>ア 流山市は地域毎に街の特性が異なるため、学校区単位など地域毎に分析を行うべきと考えるがどうか。</p> <p>イ 推計と実態との乖離を小まめに点検する必要があると思うが、どの課がどのような方法、間隔で点検していくのか。またGISはどのように活用していくつもりか。</p> <p>ウ 点検結果については積極的に情報開示していくべきと考えるがどうか。</p>
<p>2 良質な住環境の形成にむけて</p>	<p>(1) 東京都江東区ではマンション建設計画の事前届出等に関する条例で、小規模のマンション建設においても事業者が土地取引の前に建設事業に関する事項を区に届けることで、学校、保育所、学童クラブ等の公共公益施設とマンション建設との整備状況との調整を図っている。人口減少社会の中にあっても有効な土地活用を行うためには公共公益施設との相乗効果によって資産価値を高める方法が効果的と考える。流山市でも検討してみてもどうか。</p>
<p>3 学童クラブの質を担保するためのガイドライン策定について</p>	<p>(1) 東京都三鷹市では、各学童クラブにおける多様性や柔軟な運営に配慮しつつ、学童クラブの保育環境の向上を図るため三鷹市学童保育ガイドラインを策定している。児童急増の中にあっても保育の質を確保していくために、三鷹市のものを参考にして策定するべきだと思うがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>(1) 平成 29 年度予算編成方針について問う。</p> <p>ア 来年度も順調な人口増加が期待される一方で、市内でも個人消費が伸び悩むなど地域経済の脆弱性を感じる。そのような中で当市の歳入見通しと課題はどのようなものを想定しているか。</p> <p>イ 平成 29 年度は「後期基本計画下期実施計画まち・ひと・しごと創生総合戦略」2 年目の年であり、示達では当該計画の成否を左右する重要な一年と位置付けている。そのような点を踏まえた歳出面での基本方針は何か。</p> <p>(2) 後期基本計画下期実施計画が進行する中、平成 29 年度は次期総合計画基本構想策定に向けた取り組みに着手する時期と考えるが、具体的にどのような取り組みを考えているのか。</p> <p>(3) 経験豊富な職員の団塊世代の大量定年退職の時期を迎えているが、平成 29 年度はどのような人事方針を考えているのか。</p>
<p>2 北部地域のまちづくりについて</p>	<p>(1) 平成 28 年 10 月末に発表された東武鉄道株式会社の新たな運転概要によれば、東武アーバンパークラインへの特急列車の導入が予定されている。これは利根運河周辺の活性化のみならず、当市のまちづくりの好機と捉えることができるが、当局はどのような見解を持っているのか。</p> <p>(2) 新川耕地に建設中の第 2・第 3 物流施設は北部地域の活性化にも繋がる可能性があるが、北部地域交通ネットワークの再構築などに関して、当市はどのような対応を考えているのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 ボール遊びのできる公園の実現について</p>	<p>(1) 船橋市では公園でのボール遊びの可能性を検証するため、平成28年9月1日から11月30日までの3ヵ月間、市内5公園で試行事業を実施している。平成27年第3回定例会の一般質問では、市長から既存の公園や緑地でのボール遊びができる広場について研究するよう担当部署に指示をするとあり、平成28年第1回定例会での一般質問では、担当部長からは、船橋市の試行案を参考にしながら、本市の公園でどのような運用ができるかどうか方向を示していきたいとの答弁があった。そこで、以下2点について問う。</p> <p>ア 船橋市の試行案から鑑みて、本市としての現在の研究状況について問う。</p> <p>イ 今後の取り組みはどのようにになっていくのか、当局の見解を問う。</p>
<p>2 姉妹都市・友好都市のスポーツ交流について</p>	<p>(1) 現在、姉妹都市・友好都市とのスポーツ交流は小学生を対象として、相馬市スポーツ団体と野球、サッカー、剣道で相互交流を行っている。本年7月23日、24日に姉妹都市視察として信濃町に訪問したが、シニアスポーツとしてソフトボール団体の交流の話が提案され、姉妹都市・友好都市とのより深い絆づくりの一環として、幅を広げた市民相互の交流は不可欠であると考え。そこで、小学生だけでなくシニア世代のスポーツ交流も進めていくべきと考えるが、当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 子育てにやさしい街づくり施策の充実について</p>	<p>(1)本市では井崎市長就任以来、「母になるなら、流山市。」等、子育てにやさしい街をイメージできるキャッチコピーを掲げ、送迎保育ステーション事業等を実施し、子育て環境の充実をアピールしてきた。これらの施策により、DEWKS世帯の転入に一定の成果を上げたものと考えますが、その期待に応えるためにも更なる子育て環境の充実が必要と考える。そこで、以下の点について当局の見解を問う。</p> <p>ア 市内在住の母親の中には、頼れる家族や親族がいないため、安静にすべき産後に無理をして家事等をする母親が多い。近年では、産前産後の母親の家事等の負担を軽減するため、産前産後ヘルパー事業を実施している自治体も見受けられる。本市においても同事業を実施すべきと考えるがどうか。</p> <p>イ 愛知県小牧市では、子どもの発育や発達に不安を感じる家庭のために、自閉症の早期発見に役立つ「乳幼児発達度チェック」を市のホームページに開設し、多くの子育て世帯に活用されていると仄聞している。本市においても導入すべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 平成27年第2回定例会の一般質問の中で、本市の病児病後児保育の更なる拡充について質問したが、その後の進捗状況と、新年度での取り組み方針について問う。</p>
<p>2 本市の徘徊高齢者対策について</p>	<p>(1)警察庁によると、平成27年中の認知症及び認知症のおそれのある方による行方不明者数が、全国でおよそ1万2千人にも及ぶとの発表があった。深刻化する徘徊高齢者に関する問題について、以下のとおり問う。</p> <p>ア 本市における徘徊高齢者の傾向はどのような実態か。また、徘徊高齢者の発見に至るまでの経緯や、これまで本市が行ってきた徘徊高齢者対策事業について、どのように評価し、今後取り組んでいくのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 「母になるなら、流山市。」にふさわしい子育て支援策について</p>	<p>(1) 待機児童ゼロに向け流山市としても様々な取り組みを行っているが、子育て世代の急増に追い付かず、待機児童はなかなか解消に至っていない。そこで、待機児童対策として以下について問う。</p> <p>ア 厚生労働省は2017年度から、待機児童解消に向け、認可保育施設などの「入園予約制」の導入を促す方針を決めた。この制度には、事前に予約し、1歳で入園できるようにすることで育児休暇を取りやすくする効果がある。流山市でもこの制度を導入してはどうか。</p> <p>イ 潜在保育士研修の成果と課題について</p> <p>ウ 流山市内の認定こども園設置の可能性について</p> <p>(2) 松戸市では、親子近居に補助金制度を設け、推進している。親世帯と子育て中の子世帯が市内に近居することで、より安心して子育てや仕事に取り組める環境を整える事が出来ると考える。流山市でも親子近居の促進を考えてはどうか。</p> <p>(3) 児童虐待の予防・早期発見の観点から、国は「子育て世代包括支援センター」の設置を進めている。今後更に、切れ目のない支援を行っていくためにも、現在の体制の更なる充実が必要と考える。そこで、現状の課題と今後の方向性を、市としてどのように考えているのか。</p>
<p>2 「健康都市宣言の街」にふさわしい健康施策について</p>	<p>(1) 医療の進歩により、癌による死亡率が低下傾向にある中、乳がんによる死亡率は年々上昇している。現在流山市で実施している30歳代の乳がん検診は、問診・視診・触診のみとなっているが、30歳代での超音波検診を実施することは、早期発見に繋がり、乳がんによる死亡率は確実に減少すると考える。そこで、30歳代の乳がん検診には、超音波検診を導入すべきではないか。当局の見解を問う。</p> <p>(2) 肝炎ウイルス検査の受診を40歳以上の市民に促す個別通知について、千葉県は本年9月、県内の市区町村長に対し、通知対象の年齢制限を撤廃するよう文書で要請した。現在流山市では40歳のみが個別通知の対象となっていることから、早期に個別通知対象の年齢制限を撤廃すべきと考える。当局の見解を問う。</p>
<p>3 グリーンバス新路線について</p>	<p>(1) 流山市では、豊四季駅から八木南団地を通過して流山セントラルパーク駅へ行く新路線を検討していると仄聞している。現在の進捗状況と、今後の見通しについて問う。</p>

質問事項	要 旨
1 危険な踏切対策について	( 1 )今年 6 月国土交通省が「踏切安全通行カルテ」を公表し、本市内 2 カ所の踏切も改善が求められていることについて、どう改善を図るのか。
2 2017 年度における予算編成及び行政運営について	<p>( 1 )予算編成及び行政経営における基本的立場について市長の見解を問う。</p> <p>ア 南スーダンにおける自衛隊の活動が拡大するとの閣議決定が行われたことについて「平和都市宣言」をしている自治体として見解を問う。</p> <p>イ アベノミクスの行き詰まりと破たんが明瞭になりつつあると思われるが見解を問う。</p> <p>ウ 無駄な公共事業の一つとして工事が凍結されていた八ッ場ダムについて、事業費増額が発表されたが見解を問う。</p> <p>エ 市施行の鱈ヶ崎・思井地区について、9 月議会では、事業の進捗から、最大 6 億 6 千万円程度の事業費不足が今後見込まれることが明らかとなったが見解を問う。</p> <p>( 2 )次年度の各種事業の展開・具体化について副市長の見解を問う。</p> <p>ア 市職員体制の拡充や公共サービスを下支えしている委託事業者や指定管理者の労働者の環境改善について</p> <p>イ 商工農業の振興策の拡充について</p> <p>ウ 市民生活に基づく公共施設の総合的かつ将来を見据えた維持管理・更新・移転・統合について</p> <p>エ いままで流山に住んでいた方も、新しく流山市民になった方も、子どもからお年寄りまで「住んで良かった」と実感できる行政運営を実現するための方策について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市のキャッチコピーと流山市の現状について</p>	<p>(1)市民にとっては都市計画マスタープランやシティセールスプランを読むより「母になるなら、流山市。」のポスターや「都心から一番近い森のまち」のキャッチコピーやテレビでの放映による「流山市」のイメージが強いように考える。市は、キャッチコピーを単なる宣伝として扱っているのか、あるいは実態として使っているのか、目標としているのかについて当局の見解を問う。</p> <p>ア 「母になるなら、流山市。」、「学ぶ子にこたえる、流山市。」、「都心から一番近い森のまち」等のキャッチコピーはそれぞれ誰がいつ考えたものであるか。またそのキャッチコピーを選んだ背景は何か。</p> <p>イ 市長は「住みたい・住み続けたい街づくり」という目標を掲げているが、市長のいう「住みたい・住み続けたい街」というのはどのような街であるのか。</p> <p>ウ 市民の希望するまちを市はどのように把握しており、共有しているのか。</p> <p>エ 市が策定している「都市計画マスタープラン」や「シティセールスプラン」は市民にどの程度理解され、共有されていると考えているのか。また、そのために市はどのような努力をしているか。</p>
<p>2 公が担う役割としての指定管理者制度の在り方について</p>	<p>(1)平成15年に指定管理者制度が創設され、流山市でも公共施設の管理運営を指定管理者が行っているが制度導入から10年以上が経過しており、検証が必要な時期であると考え。よって以下を問う。</p> <p>ア 指定管理者制度を導入している施設は市内に何か所あり、それにかかる経費は年間どのくらいになっており、制度導入からの総額はいくらか。また、これを指定管理にせず市直轄にした場合と比べてどの程度の経費節減になったと考えるのか。</p> <p>イ 指定管理者制度を導入してそのサービスの向上が図れたことが最も重要であると考え、その目標は達成しているのか。満足度アンケート以外での評価は何で測っているのか。</p> <p>ウ 指定管理者制度は、市と市民との協働で始まっているが、公共の果たす役割を考えると市が最終責任をとれる管理体制が必要であり、実態の把握や改善や提案ができる連携が望ましいがそれらは充分行われているか。</p> <p>エ 今後指定管理者制度を続けるにあたっての課題を市はどう認識しているか。また、今後、指定管理にしていく予定の公共施設はあるのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市内各地域の防災対応・震災対策について</p>	<p>(1)平成28年第3回定例会では、震災対策について質問したが今回は切り口を変えて各地域ごとの防災対応・震災対策について以下の通り問う。</p> <p>ア ゲリラ豪雨などによる江戸川の氾濫など流域の水害対策について「平成27年の常総市鬼怒川水害対応に関する検証報告書」から参考にすべきものは検証したか。その結果、流山ハザードマップ上の浸水想定地域15ヶ所の対策を見直し、修正した方が良い要素は発見できたか。</p> <p>イ 小学校毎の避難所運営マニュアルが市内小学校16校中11校で作成完了していると公開されているが、その作成過程と内容に大きな違いはあるのか。また特に重点を置いている項目はあるのか。</p> <p>ウ 自治会会員をどこの避難所に誘導すべきかを事前に決めて会員に徹底したいという要望が自治会幹部から出されているが、大規模な震災などの場合は特に市からの具体的な指示・決定などは期待できるのか。</p> <p>エ 国・県・市として、市民の災害時の被害補償・見舞金支給などの規定は準備されているのか。</p> <p>オ 市内医療機関(開業医含む)の担当地域のような取り決めはしているのか。または決定されているのか。松戸・柏市など隣接市との医療機関の支援協定などは結ばれているのか。</p> <p>カ 基本は各自治会が自主性を持ち、住民の安全のための啓発活動を強化すべきだが、市当局がこれを独自のノウハウ、情報伝達、財政面で支援することが望まれるがご見解はどうか。</p>
<p>2 市役所南側隣地の通称「飛地山」の現状と今後について</p>	<p>(1)通称「飛地山」は、マンション・保育園・スーパーマーケットへ開発途中で、既に緑地公園の面影は失われ、平地となって9月以降工事を休止していると地元の方々から問われており、以下について問う。</p> <p>ア 当該物件の進捗状況について情報は掴んでいるのか。</p> <p>イ 今後の予定は把握できているのか。</p> <p>ウ 以前にも市として買い取る手続きが承認されたと理解しているが、今後についてのご見解はどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 介護保険制度について</p>	<p>( 1 ) 本市は 2014 年度の介護保険制度の改定に合わせて、2015 年度から要介護度のレベルによって提供するサービスを変更する、流山市が行う介護予防・日常生活支援総合事業をスタートさせるなどの新たな取り組みを開始した。この制度変更について以下の諸点を問う。</p> <p>ア 要介護度 1 や 2 と認定された人が原則として特別養護老人ホームへの入所の資格を失ったが、その影響をどのように考えているか。</p> <p>イ 要支援 1 と 2 の方に対するサービスを介護予防・日常生活支援総合事業に移行させたが、その結果をどのように評価しているか。</p> <p>ウ 介護サービス利用料が一部の利用者に関して 1 割から 2 割に引き上げられたが、その影響はどのように現れているか。</p> <p>エ 低所得者に対する補足給付の基準が変更されたが、その結果をどのように考えているか。</p> <p>( 2 ) 国は 2018 年度の介護保険の改定に向けて動いており、既にいくつかの論点が打ち出されている。その一部は来年度から実施予定と言われる。この事に関して以下の諸点を問う。</p> <p>ア 高額介護サービスの月額上限の引き上げについてどう考えるか。</p> <p>イ 利用者負担 2 割の対象者をさらに拡大することについてどう考えるか。</p> <p>ウ 要介護 2 までの人の訪問介護における生活援助や福祉用具貸与、住宅改修を原則自己負担とする論点についてどう考えるか。</p> <p>エ 通所介護を市町村総合事業に移行するという論点についてどう考えるか。</p>
<p>2 おおたかの森小中学校について</p>	<p>( 1 ) おおたかの森小中学校において来年度から教室が不足することが明らかになり、校舎増設を検討せざるを得なくなったことについて、以下の諸点を問う。</p> <p>ア 校舎増設を検討する際に用いた児童・生徒数の推計は何年度までを想定し、その推計はどのような根拠に基づいているか。</p> <p>イ 第 3 回定例会の一般質問において「風のみち」への評価と既設校舎への冷房設備の導入についての見解は保留されたが、現在はどのように考えているか。</p> <p>ウ 2015 年度の千葉県建築文化賞の応募者は誰か。受賞者の中に設計者や建設会社の他、流山市も含まれているが、流山市は受賞を返上すべきではないか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 福祉有償運送及び有償ボランティアのドライバー不足について</p>	<p>(1) 外出に困る高齢者が増える一方、福祉有償運送及び有償ボランティアのドライバー不足は深刻である。NPOやシルバー人材センターが開催する「福祉輸送ヘルパー養成講習」も受講者そのものがなかなか集まらないと聞く。福祉有償運送及び有償ボランティアによるドライバー不足について当局の協力が必要と考えるが、見解と対策を問う。</p>
<p>2 温暖化対策について</p>	<p>(1) 新川耕地では、現在建設中の物流センターが太陽光発電によるクリーンエネルギーを適用する計画であると聞かすが、市内事業者の太陽光発電設置の現状について問う。</p> <p>(2) 民生業務部門の二酸化炭素排出を削減するには、工業団地をはじめとする市内事業者の協力が必須と考えるが、当局の見解と対策について問う。</p> <p>(3) 一般家庭の二酸化炭素排出削減を推進するために、新規着工の住宅には太陽光発電設置を義務づけてはどうか。</p>
<p>3 雇用支援対策について</p>	<p>(1) 新川耕地の物流センター建設によって大量の雇用創出が見込まれる。雇用は野田、松戸、柏におよぶ可能性があるが、市内雇用を確保するために、ジョブサポート流山(流山市地域職業相談室)や松戸ハローワークとどんな連携をとっているのか。</p> <p>(2) 物流センターの雇用によって、賃金の上昇など、市内企業への影響が懸念される。当局は市内企業育成の点からどんな対策を考えているのか。</p> <p>(3) 新川耕地で働く雇用者は一気に増大するが、公共交通対策をとる計画はあるのか。</p>



NAGAREYAMA